

令和6年度「健やかな体」育成プログラム

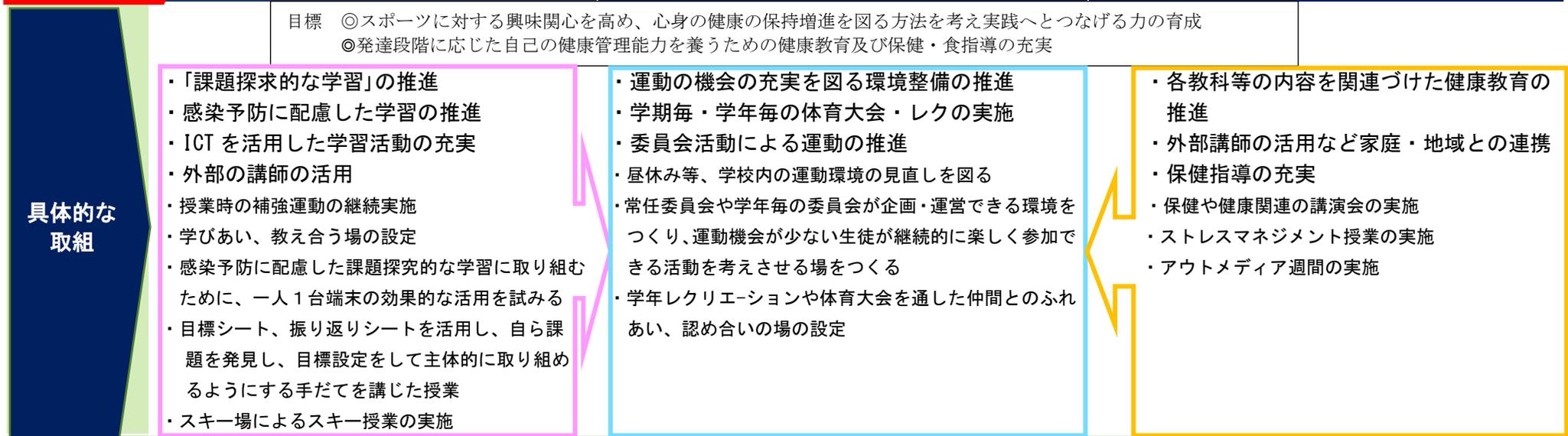
学校番号：37506

学校名：札幌市立稲穂中学校

令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果		分析
体力・運動能力 <男子> ○前回の記録と同程度もしくは上回った種目 長座体前屈、50m走、立ち幅跳び、反復横跳び、20mシャトルラン ○前回の記録より下回った種目 握力、上体起こし、ハンドボール投げ	体力・運動能力 <女子> ○前回の記録と同程度もしくは上回った種目 長座体前屈、50m走、ハンドボール投げ ○前回の記録より下回った種目 握力、上体起こし、立ち幅跳び、反復横跳び、20mシャトルラン	柔軟性や持久力は授業時の補強運動・柔軟ストレッチ、長期休業の課題に取り入れている成果もあり、前回の記録と同等以上の効果は見られた。筋力・筋持久力・瞬発力の向上が課題となる。習慣化できる運動を考えていく。 女子の運動の習慣が定着していない結果となった。体育の授業だけでなく、生活の中で取り入れていく必要がある。体育の授業時以外での「主体的に学習に取り組む態度」に関連して学校独自の取組をしていきたい。 男子は8割近くが運動習慣が身につけているのに対し、女子は半数以下となっている。年々減少もしくは同程度のため、運動習慣が身につけていない生徒へのアプローチを考えていく。
・放課後や学校が休みの日に、運動部活動や地域のスポーツクラブ以外で、運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることがありますか。 R5年度男子 よくある51% ときどきある23% あまりない16% まったくない10% R5年度女子 よくある21% ときどきある26% あまりない31% まったくない22%		

三つの取組	①体育・保健体育等の授業の充実	②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組	③子どもが自らの健康づくりを図る取組の充実
--------------	------------------------	------------------------------	------------------------------

目標 ◎スポーツに対する興味関心を高め、心身の健康の保持増進を図る方法を考え実践へとつなげる力の育成
 ◎発達段階に応じた自己の健康管理能力を養うための健康教育及び保健・食指導の充実



家庭・地域との連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> ○学校独自の生徒アンケートや保護者アンケート等の活用や全国体力・運動能力、運動習慣等調査等の結果を活用 ○保健体育の評価規準に基づく学習状況評価結果の活用 ○学校評議員会・学校関係者評価等の活用
---------------------	---